

「2年連続の昇格目前・いわきFC」

2022年10月23日(日) J3リーグ いわきFC VS 愛媛 13:00KO
観衆2369名 天候 曇り



↑JRいわき駅

↑愛媛FCサポーターへのおもてなし



↑活動場所である入場ゲート

↑サポーターで埋め尽くされているスタンド

1、福島県2クラブの応援TV番組

東京駅から常磐線特急ひたち号で2時間20分、前日夜に東北地方第2の都市であるいわき市の玄関口であるJRいわき駅に到着しました。改札を出るといわきFCののぼり旗が見られました。

翌朝、たまたまTVをつけたら「KICK OFF FUKUSHIMA」というローカル番組が放映されていて、いわきFCと福島ユナイテッドの前節の試合ダイジェストと今日の試合の駐車場案内、来場者プレゼントなど試合情報まで詳しく紹介されていました。このような番組を見ると朝からテンションが上がりますね。

2、アウェイサポーターへのおもてなしも十分

午前8時、いわきFCボランティアのKさんがホテルに迎えに来てくださり、約25km

先のJビレッジスタジアムまでご一緒させていただきました。午前9時前にスタジアムに到着すると、すでに10店舗以上の売店の店舗や「愛媛FCサポーターのみなさま ようこそ！！Jビレッジスタジアムへ いわきFCウエルカムボード部より」といったボード、浜通り（福島県の常磐線沿い地域）のふるまい酒、いわき市観光振興課のアウェイサポーター全員へのパンフレット配布、アンケートに答えると粗品、特産品のプレゼント…とアウェイサポーターに対するおもてなしは鳥栖に匹敵するほどかと思います。いわき市はじめ浜通り地方の観光PRに対する熱意を感じました。愛媛のサポーターの皆さんも喜んでいただけたのではないのでしょうか？

3、全員が入場ゲートでの活動

ピンク色のビブスを着て朝礼後、10数名のボランティア+夕方から実施される東北ボランティアサミット出席者で、スポーツイベント運営会社の方から説明を受け活動開始です。いわきFCのボランティアは全員が1カ所のみ入場ゲートの配置であるのが特色です。レーンは4カ所あり、左からメイン中央席・自由席の再入場、次に同入場、次に自由席（アウェイ含む）入場、一番右側が自由席の再入場となっていて、入場レーンは2箇所のみとなっています。開門前にテーブル、案内看板の設置を行ないました。

私の配置担当はメイン中央・自由席の入場者数カウントでした。開門前から100名以上の方が並んでいて、開門時の様子を地元テレビ局のカメラマンが追っていました。当日は昇格まであと一歩という大事な一戦で、招待券が多かったようで、初めて観戦に来られた方も多く、入場者数カウントの担当といっても「この招待券の引換場所はどこですか？」「車いすですが（空いている）再入場口から入場してもいいですか？」などと聞かれることも多かったです。また電子チケットお持ちの方のスマートフォンアプリの画面が出てこないこともそれなりに多く、レーンの流れは順調ではないことも多かったです。

KO後はお弁当をいただき、メイン中央席での座席確認、試合終了直前からはテーブル、案内看板の撤収、試合終了後はのぼり旗の撤収をして16時前に解散となりました。当日も勝利して、J2昇格が目前に迫ってきて盛り上がりを感じました。

4、入場ゲートの増設を

入場レーンが2箇所です。2300名もの来場者が通るのはちょっとキツイかなと感じ、来シーズンはJ2に昇格され今年以上の来場者が予想されるので、入場ゲートの増設を検討したらどうかと思いました。またボランティアの方の人数も足りているとは言い難く、自転車操業的な運営にならざるを得なくなっていると感じました。

しかし2年連続の昇格という快挙を達成したいいわきFC。来年の更なる期待を抱きながら、秋真っ盛りの常磐路を跡にいたしました。Kさんはじめ、皆さまありがとうございました。